

令和3年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1)施設名	与野本町デイサービスセンター
(2)施設概要	<p>①所在地 さいたま市中央区本町東4丁目7番20号</p> <p>②施設の設置目的 老人福祉法及び身体障害者福祉法に規定する基本理念に基づき、デイサービスセンターの利用者の健康で安らかな生活の維持向上に寄与し、福祉の増進を図るための施設</p> <p>③施設の概要 開設年月 平成5年11月 延床面積 1,512.69㎡ 構造 鉄筋コンクリート造 地上3階建</p> <p>④事業内容(定員30人) ・老人デイサービス事業 ・障害者デイサービス事業 ・生きがい活動支援通所事業</p>
(3)指定管理者	社会福祉法人 シナプス
(4)指定期間、指定管理料	<p>①指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日</p> <p>②指定管理料 令和元年度 10,900千円 令和2年度 11,300千円 令和3年度 11,300千円</p>
(5)施設の管理運営の内容	<p>①運營業務の状況(利用状況含む)</p> <p>◇利用状況 ・利用者数 6994人(前年度6949人) ・稼働率76.66%(前年度76.42%) 一日平均利用者数23人(前年度23人) 送迎6743人(前年度6636人)・入浴3415人(前年度3587人)</p> <p>◇業務実施状況 介護保険法における指定(介護予防)通所介護事業及び障害者総合支援法による生活介護(基準該当)事業を実施。利用者の稼働率については、昨年度に続き、コロナ禍での運営となり、日々、感染対策など制限のある環境で利用者にとっては、様々な場面で迷惑をかける機会が多かったが、感染対策を徹底出来たことで、施設内でのクラスター発生や休業することなく昨年度からは45人増加の年間6994人の利用者数を確保できた。新規利用者獲得についても、地域での与野本町デイサービスセンターとしての認知度の向上や、ケアマネージャーとの繋がりや協力もあり年間25人が新規利用となった。</p> <p>②維持管理業務の状況 機械浴槽とエレベーターの経年劣化が課題となっているが、今年度も通常のメンテナンスで支障なくサービス提供ができた。コロナウイルス感染症対策としてサーキュレーターを使用や空調機の常時稼働等で消費電力が増えた為、電気代の使用料が増加してしまった。</p>

(6)収支状況	①収入 ・利用料金収入69,415千円（前年度67,754千円） ・指定管理料11,300千円（前年度11,300千円） ・その他279千円（前年度79千円） ②支出 ・人件費60,970千円（前年度60,388千円） ・事務費1,486千円（前年度2,625千円） ・施設管理費7,366千円（前年度7,251千円） ・事業費10,391千円（前年度8,715千円）
(7)利用者アンケート等による 市民からの意見・要望等への対応	特になし
(8)その他	

2. 提案内容の達成状況

（指定管理者から提案のあった項目の達成状況）

提案内容	達成状況
地域に開かれた施設	昨年度に続き、コロナウイルス感染対策として、本年もボランティア、実習生の受け入れが出来ない状況であった。利用者の関係者やケアマネージャーについても事業所への立ち入りを極力少なくし、連絡事項は電話や手紙等に対応。

3. 評価

（1）指定管理者による評価

年2回(9月・3月)実施している利用者アンケートでは、全項目で「大変満足」「満足」の回答が7割を超えた。昨年度から課題であった「入浴」の項目では、1番の問題であったマンパワー不足では、大きな変化はなかったが、現状いる職員での業務の見直しや効率化を進めた結果、昨年に比べ大きく業務改善を行うことができた、これまで以上に安心、安全な入浴サービスを提供することができた。この点が利用者の満足度につながったと考えられる。アンケートの内容はもちろんのこと、その結果を踏まえて職員同士で業務改善を行うという習慣を今後も大切にしていきたい。

提供するレクリエーション活動では、コロナ感染症対策をとり、細心の注意をしながら利用者の心身機能の向上や維持を図れるプログラムを提供できるよう、職員が試行錯誤をしながら、コロナ禍でのレクリエーション活動内容を徐々に確立できた1年間だった。

建物の維持管理に関しては定期的な保守点検に努め、不具合については早期対応にて修繕してきたこともあり、令和3年においては特記すべき不具合は発生していない。

(2)さいたま市の評価(評価担当課:保健福祉局長寿応援部高齢福祉課)

総合評価(B)※A～D

(1)「市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進」に対する評価

・昨年度からの課題に対して、業務の見直しや効率化等の創意工夫により、大幅な業務改善につながったという点を評価した。

・新型コロナウイルス感染症の影響下であったが、感染防止対策の徹底や職員による試行錯誤により、可能な範囲でレクリエーションを実施する等、利用者へのサービス向上に努めた点を評価した。

(2)「経費の削減」に対する評価

・予算額と決算額との乖離が僅かであり、概ね適切であると評価した。

(3)「適正な管理運営の確保」に対する評価

・新型コロナウイルスの感染防止対策の徹底や、備品・設備等の適切な管理を行っているを評価した。

2 総合評価

事業計画に沿って、適正に施設運営が行われている。

(3)来年度の管理運営に対する指導事項等

引き続き適切な管理運営に努めて下さい。